

令和5年度第4回大曲地域協議会会議録

令和6年2月16日

大曲地域協議会

令和5年度第4回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	3
(2) 地域課題（自主審議テーマ）の協議について	3
■報告	
(1) 「はなび・アムと周辺の取り組み」について	6
(2) 令和5年度地域枠予算の活用状況について	7
■その他	
(1) 大仙アカデミーの開催について	7
■閉会	8
■署名	8

■日 時：令和6年2月16日（金）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：13名

鎌田 俊、後藤 仁美、根田 朋子、深谷 成男、打川 元喜、佐藤 芳紀、佐藤 毅、
塚田 兼一、戸嶋 真紀子、生田目 マキ子、細井 陽子、松塚 孝治、長屋 奈恵子

■欠席委員：1名

荒屋鋪 栄明

■出席職員：4名

山信田 恭弘（地域活動応援課課長） 高橋 靖弘（地域活動応援課参事）
遠藤 彩希（地域活動応援課主幹） 進藤 尚人（地域活動応援課主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 会議録署名委員の指名
 - (2) 地域課題（自主審議テーマ）の協議について
- 4 報 告
 - (1) 「はなび・アムと周辺の取り組み」について
 - (2) 令和5年度地域枠予算の活用状況について
- 5 その他
 - (1) 大仙アカデミーの開催について
- 6 閉 会

（午後 6時 開会）

○事務局(高橋参事)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から令和5年度第4回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、鎌田会長よりごあいさつをお願いします。

○鎌田俊会長（以下、会長と表記）

皆さんこんばんは。

今年度最後の地域協議会になります。

今回は、欠席者が大変多かったのですが、非常に活発な意見が出て内容としては有意義な会議だったと思います。

今日は、前回と同じくA・B両班にわかれて討議をするんですけども、前回の討議の時にちょっと感じたことが一つありました。それは、A班とB班はテーマが別で全然違うことを討議してるんですけども、着地点は一緒なのかなという感じを受けました。

A班は花火以外のブランド商品を作るというテーマで話し合いましたが、B班の地域イベントの交流人口を増やすというテーマの話し合いの中でも、ブランド商品というのは必ず必要になって来るものだと感じたところでした。

共通点がA・B両班ともにあって、ベクトルは今2本ですけども、いずれは1本化して討議も一緒にしてもいいのかなと思います。

ただ今日は、前回全委員の半分の人数で討議したので、改めてA班、B班でそれぞれのテーマをもう1回煮詰めていただきたいと思います。

大曲には、横手焼きそばのようなブランド商品がございません。

唯一、大曲の花火という、それこそ全国トップレベルのブランド商品がありますけれども、花火というのは、ドンと上がってパッと散ります。

次の日には、人まで散っていくわけですけども、A班は、花火ブランドを年間通して有効活用できないものかというのが、テーマを決める上で一つの出发点でした。

そういったことを考えますと、いろんな発想の転換というか、やっぱりブランドというものに関して固執しながら、一年中使えるブランドというものを我々が考えていかなければならないと感じました。

歴史というのは自然にできていくものではなくて作っていくものだと感じています。

今日は皆さんと一緒に、階段をまた一步上がりたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

○事務局(高橋参事)

会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

次第

委員名簿・配席図

資料 NO. 1 本日の協議の進め方

資料 NO. 2 - 1 地域課題協議シート (A班)

資料 NO. 2 - 2 地域課題協議シート (B班)

資料 No. 3 「はなび・アムと周辺の取り組み」 R 6 事業実施案

資料 No. 4 令和5年度地域枠予算活用事業一覧

資料 No. 5 大仙アカデミー開催チラシ

以上でございます。お手元に無い場合はお知らせ下さい。

このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鎌田会長にお願いいたします。

○会長

それでは、会議をはじめます。

本日は、荒屋舗栄明委員から欠席の届出がされまして、本日の出席委員は13名となっております。

委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次に議題に入ります。

議題の1、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、深谷成男委員と生田目マキ子委員をお願いいたします。

続きまして、議題の2「地域課題（自主審議テーマ）の協議について」を議題といたします。

事務局から、説明をお願いします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

ただ今事務局から説明がありましたが、本日は、前回に引き続きA班、B班に分かれていただき、それぞれ決定したテーマについて、目標・目的、対応策などを協議していただきたいと思います。

協議の時間は、今から30分位とりたいと思います。

協議の方法はワークショップ形式で行います。

資料 No. 2 の地域課題協議シート、模造紙、付箋貼付などを使用して協議してください。

最後にグループごとに協議の結果を報告していただきますので、はじめに、どなたか進行役と報告していただける方を決めていただきたいと思います。

それでは、始めてください。よろしくをお願いします。

【グループ協議】

(A班)

鎌田俊

深谷成男

佐藤毅

生田目マキ子

細井陽子

松塚孝治

長屋奈恵子

(B班)

後藤仁美

根田朋子

打川元喜

佐藤芳紀

塚田兼一

戸嶋真紀子

○会長

時間となりましたが、よろしいでしょうか。

それでは、各グループから報告をしていただきます。

はじめにAグループからお願いします。

○深谷成男委員

花火以外のブランド商品を作るという前回のテーマに、さらに統一ブランドを作るというテーマを追加して意見を出し合いましたが結論までには至りませんでした。

今日出た内容ですけれども、藤井聡太さんが大仙市に来ていろいろな行事に参加した際に、「オープンカツ」を食したということで全国的にもかなり知られたと思います。まず候補の一つとして、「オープンカツ」が挙げられました。

その他にも大曲というと「納豆汁」が挙げられました。「納豆汁」の素を商品化してお土産にして送ったらどうかという意見も出ました。

また、大仙市は米文化が根付いておりますので、米粉を活用したらどうかという意見も出ました。だいたい前に米ブームで米粉がもてはやされた時期がありましたが、値段の問題などで今はあまり話題に上らなくなっていますけれども、米粉を使ったスイーツや料理の開発を進める必要があるんじゃないかという意見がでました。

それを広めるためには、例えば、横手焼きそばも毎年四天王を決めるコンテストを行ってますが、そういう類いのスイーツや料理のコンテストなどを開催しながら盛り上げることで根付いていくんじゃないかという意見がでました。

また、大曲ですから当然花火がメインになるわけですので、とにかく花火に関連付けた花火ブランドを活用するという事で、花火ラーメンや花火チャーハン、花火カレーなど何らかの形でとにかく統一性を持たせる必要があるという意見が出ました。

それに関連して、花火を売り込むために花火師のトレーディングカードなども作ったらどうかという意見も出ました。

また、PRのための統一性をもった紙袋をつくったらどうかという意見も出ました。

当然これらのものをやるためには、はなび・アムを中心として催し物を行った方がよいということで、はなび・アムをイルミネーションで飾り付けをしてアピールしたらどうかという意見も出ました。

以上です。

○会長

ありがとうございました。

ただいま、Aグループから報告していただきましたが、皆さんからご質問などございませんでしょうか。

無ければ次にBグループお願いします。

○根田朋子委員

それではB班の報告をいたします。

テーマの地域イベントの交流人口を増やすということについて一番の課題は、やはり情報を仕入れることができているのではないかということでした。

そこで、まず情報のプラットフォームを作った方がいいんじゃないかという案が出ました。

そこにアクセスやリンクをすれば全ての情報が得られる。そんな、情報のプラットフォームがWeb上であればいいという意見がでました。

それを観光物産協会にお願いするのはどうかという話が出たんですが、観光物産協会も県外向けに大仙市を周知するような活動を行っているので、市内向けの周知は難しいのではないかと、誰が出来るのかという話になりました。片手間では続かないとか、ボランティアでそれぞれの善意でやっていただくとすると、中々続かないのではないかと、補助金など何か支援をいただいて、どなたかにやっていただくなどの方法はないかという話になりました。

FMはなびでやっていただいたらどうかという話もあったのですが、正直、情報を発信していく仕事ではあるんですけども、それを運営していくというのは、人手が足りないという現状もあり難しいと思います。また、市が主導してやってみたらどうかという意見もでました。新たな組織を作るよりも、今あるものに役割を与えて、誰かにお願いした方が続くのではないかという意見もでましたが、誰にお願いすればいいのかについては、結論がでませんでした。

話が前後するかもしれませんが、いまママ友界隈で秋田っ子暮らしイベント情報というコミュニティがあるそうです。それは、約40人くらいのお母さんたちが個人でやってるものなので、そのようなものの公式版があればよいという意見も出ました。

大仙市にはLINEの公式LINEアカウントがあって、子育てに関する情報や花火に関する情報などに区分されており、そこから発信される情報により、自分が必要とする情報を得ることができるのですが、それよりももう一つ下の段階の身近な15人とか30人規模のイベント情報を得られればよいという話がありました。

その中でちょっと話が脱線してしまうのですが、多く人が集まる地域イベントの話で、例えば四ツ屋まつりというイベントは集客がすごく多いんですけども、祭りを開催するにあたって各分野の長を集めて会議をやっていることや、花館も大運動会をやっている老若男女みんなで盛り上がっているのですが、開催にあたってはベテランの方やPTAの方などがみんなで集まってやっているという話がでました。

あと、前回の会議で出てた駅前の映画館が無くなってしまったことについて、実は今プラスカフェでやり始めてるという話や、人を集めるためには参加型のイベントの方が参加しやすいという話もでました。

角間川の盆踊りやドンパン祭のように、地元の人たちの他に初めて踊る人が当日行ってもすぐに一緒に踊れるような、そういう参加型のイベントがあればいいという意見や、花火の掛け声の呼び出しのコンテストや、大声コンテスト、浴衣コンテストなどの話も出ました。

まずはイベントを知ってもらってそこで色々な体験をしたり、お祭りをキャラバン形式でやったらどうかという意見がでました。例えば、毎回大曲だけではなくて、南外や太田、中仙などに一つのイベントが巡回するというのも、交流人口が増えるのではないかという話になりました。

まずは、第1に情報のプラットフォームを作ることができればいいということでした。
以上です。

○会長

ありがとうございました。

ただいま、Bグループから報告していただきましたが、皆さんからご質問などございませんでしょうか。

無ければ、以上で、議題2の「地域課題（自主審議テーマ）の協議について」を終了します。

続きまして、報告1「はなび・アムと周辺の取り組み」について事務局から説明をお願いします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局より、はなび・アムと周辺の取り組みに関する令和6年度の取り組み(案)について説明がありました。

皆さんから、事業の進め方や、取組に関する提案などご意見はございませんでしょうか。

○後藤仁美委員

まちぶらカード設置事業についてですが、予算を何にいくら使ったというのは、今後知ること出来るのでしょうか。

○事務局(高橋参事)

今年度が終了して実績報告という形でご報告させていただきたいと思います。

○後藤仁美委員

対象のお店からは、この事業でどれぐらいの見返りがあるのか、また、参加はしたいけど初期費用に8,000円かかる。何か特典をつける情報発信カードなので、結局は店側が負担することになるといった声が聞こえてきております。例えば、初期費用8,000円を出してランチ100円引というカードを設置したとして、100円引きにしてどれだけの効果が得られるかというところに疑問を感じているお店もあります。

お店側にとっては初めての事業なので戸惑いもあると思いますので、もう少し参加しやすくしたらどうかと思いますが如何でしょうか。

○事務局(高橋参事)

まちぶらカードは、観光情報センターとはなび・アムに設置いたします。

両施設では、ここの近くで美味しいお店やラーメン屋さんはありませんか、また、お土産

はどこに行けば買えますかななどの問合せがあるそうです。

そういったお店を探している方々に対して、お店をご紹介すると同時に、そのお店に行くまで歩いて行ってもらうことで街を周遊してもらうことも目的の一つとした事業であります。

歩いて周遊していただくことで、目的のお店だけに限らず、他の色々なお店も目に付いてくるかと思えます。そういった部分の相乗効果も期待している事業でありますので、お店の方にはそういった部分もご理解をいただきながら事業の参加についてお願いできればと思っております。

○会長

他にありませんか。

無ければ次に、報告2「令和5年度地域枠予算の活用状況」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(遠藤主幹)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局より、地域枠予算の活用状況について説明がありましたが、何かございませんか。

なければ、以上で次第4の報告を終了します。

本日の議題等については以上であります。

続きまして、次第の5番の「その他」にうつります。

(1) 大仙アカデミーの開催について説明をお願いいたします。

○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま説明がありましたが、皆様から何かございませんか。

無ければ、他に事務局からお願いします。

○事務局(高橋参事)

今年度は、今回の第4回目の大曲地域協議会をもちまして終了といたします。

来年度、第1回目の地域協議会は、5月の中旬頃を開催予定としております。

来年度に入りますとご協議いただきたい案件というのが一つ増えるような形になります。

市では、地域公共交通計画がありますが、その策定にあたり委員の皆様からご意見をいただきたいと考えているところであります。

公共交通に関しましては、運転手不足ですとか、人口減少による利用者の減少、路線バスの廃止などの現状がございます。委員の皆様からは、現在の地域公共交通について、また将

来求める地域公共交通のあり方などについて、ご意見を頂戴したいと思いますのでよろしく
お願いいたします。

以上でございます。

○会長

他に委員の皆さんから何かありませんか。

無ければ、これを持ちまして本日の会議を閉じさせていただきます。長時間にわたりご苦
労様でした。

(午後 7時30分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
